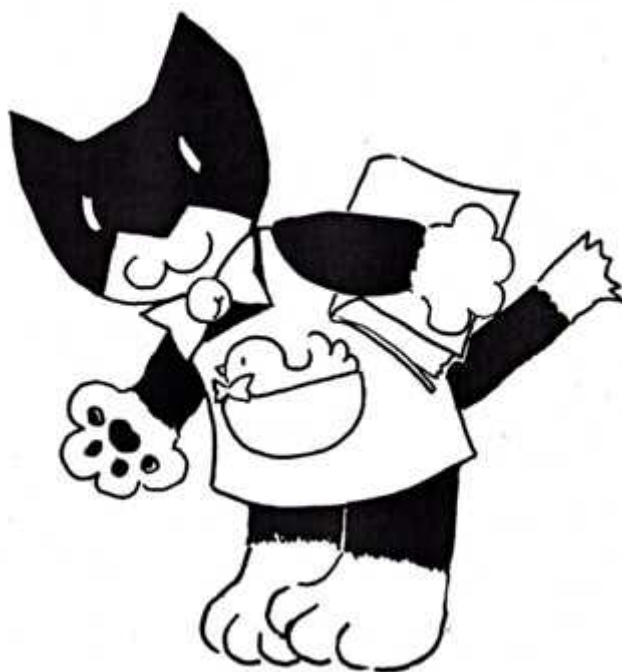


令和 3 年度
(2021 年度)

つくば市の図書館概要



つくば市立中央図書館

目 次

ページ

1	つくば市の概要	1
2	施設概要	1
3	運営方針	2
4	組織・事務分掌	3
5	図書館サービス体制	4
6	図書館サービス	4
7	小中学校・義務教育学校への支援事業	7
8	自動車図書館	8
9	4 交流センター図書室との連携	8
10	筑波大学附属図書館との連携	9
11	令和2年度（2020年度）の主な図書館事業	10
12	沿革	12
13	年間統計	19
14	ボランティア活動状況	23
15	所蔵雑誌一覧	24
16	所蔵新聞一覧	29
17	雑誌スポンサー制度	30

1 つくば市の概要

つくば市は、茨城県の南西部に位置し、東京から北東に約 50 km、面積は 283.72 km²で、県内 4 番目の広さです。

万葉集で多く詠まれた名峰「筑波山」をはじめとする豊かな自然と、研究・教育機関の集積「筑波研究学園都市」を有する、自然と科学が調和したまちです。

筑波研究学園都市では、国と民間合わせて約 150 の研究機関が立地し、約 19,000 人の研究従事者が日々、最先端の研究開発を行っています。また、筑波大学においても、恵まれた環境の下、様々な分野の研究が行われており、つくば市とも各分野で連携しています。

つくば市には、研究従事者や留学生など多くの外国人が居住し、その数は 138 か国、約 9,900 人に及び、つくば市全体の人口の約 4.1%に当たります。(全国平均は 2.0%)

平成 17 年(2005 年)のつくばエクスプレス開業以降、沿線地区を中心に人口は増加傾向にあり、青少年人口が多いことも特徴です。(全国平均 12.1%に対してつくば市 16.7%)

つくば市は、平成 30 年(2018 年)2 月に国連の持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)の考え方を取り入れた「持続可能都市ビジョン」を公表しました。同年 3 月には市議会で、「つくば市政に SDGs(持続可能な開発目標)の理念を反映するための取組を求める決議」が可決。また、本市が国から県内唯一の「SDGs 未来都市」に選定されたことから、持続可能なまちづくりのための取組を全国に先駆けて推進しています。

SDGs の基本理念である「誰一人取り残さない」という包摂の精神は、つくば市の持続可能なまちづくりとも一致するものであり、SDGs を重要なキーワードとしながら、市民、議会、行政などが一丸となって具体的な取り組みを進めています。

〔つくば市人口(常住人口): 245,505 人(令和 3 年(2021 年)5 月 1 日現在)〕

2 施設概要

「つくば市立中央図書館」(以下、中央図書館)は中央公園に面し、茨城県近代美術館つくば分館との複合施設「つくば文化会館アルス」として建設され、平成 2 年(1990 年)6 月に開館しました。アルス(ARS)は、ラテン語で「芸術・学芸・美術」を意味します。館内には、ピアノ備え付けの多目的ホール「アルスホール」もあり、コンサートや講演会などに利用されています。

つくば文化会館アルス(図書館、美術館、ホール)	
所在地	茨城県つくば市吾妻 2 丁目 8 番地
施設面積	市管理部分: 2,695 m ² (1 F: 1,714 m ² 2 F: 912 m ² その他: 69 m ²)
	県管理部分: 2,068 m ² (1 F: 1,574 m ² 2 F: 494 m ²)
	県市共用部分: 1,414 m ² (1 F: 645 m ² 2 F: 358 m ² その他: 411 m ²)

施設概要 (市管理部分)	1 F 開架書架室、保存書庫、自動車図書館車庫 ほか 2 F アルスホール、集会室、会議室、事務室 ほか
-----------------	---

つくば市立中央図書館	
利用時間	午前9時30分～午後7時（特別開館日は午後5時まで）
休館日	月曜日（国民の祝日と重なった場合は火曜日）、祝日（一部の祝日は特別開館）、年末年始、特別整理期間（6月・2月）

アルスホール（つくば市視聴覚センター）	
利用時間	午前9時～午後10時（月曜祝日は午後5時まで）
定員	100名
休館日	月曜日（国民の祝日と重なった場合は火曜日）、年末年始
設備品	グランドピアノ、マイク、スクリーン、調光装置、専用控室 ほか
その他	利用申込みは、6か月前の同日から利用日の前日まで 予約状況は、ホームページから確認可能

3 運営方針

中央図書館では、市民の生涯学習を支援するとともに、教育・文化などに関する情報や資源を受発信する「知」の拠点として、市民が利用しやすい図書館を整備し、充実を図っていくものとします。

「令和3年度（2021年度）中央図書館重点事業」

（1）安全・安心な図書館サービスの提供

新型コロナウイルス感染症対策を強化し、利用者の安全を確保し、安心して利用していただけるようサービス体制を構築します。

イベントの実施に当たっては、感染リスクの少ないイベントを企画し、また、既存イベントについても様々な工夫を凝らして行っていきます。

（2）つくば市域における図書館間の連携強化

「つくば市域図書館連携協定」に基づき、筑波大学附属図書館との連携事業を開始します。令和3年度は、筑波大学附属図書館との独自の相互貸借を開始し、利用者の利便性の向上を図ります。

(3) 自動車図書館サービスの拡大

自動車図書館サービスを3台体制で行うため、令和3年度中に新規車両の配備を完了します。また、サービスステーションについては、令和4年度からの増設に向け既存ステーションの見直しを行うとともに、ニーズ調査や先進事例調査などを通じて新たな利用の拡大を図ります。さらに、自動車図書館を活用したイベントや従来の考え方にとらわれない活用方法などについての検討を開始します。

(4) 中央図書館の施設改修計画の検討

図書館懇話会提言書で示された、公園のように自由な図書館「ふれあいライブラリーパーク」の理念を実現する中央図書館の施設改修についての検討を開始します。令和3年度は、先進事例調査、市民意見の聴取及び改修計画案策定に着手します。

(5) 次期図書館情報システムの検討

令和4年度に導入を予定している次期図書館情報システムについての検討作業に着手します。次期システムについては、電子図書館や読書通帳、スマホアプリなどの導入の可能性やWeb機能の充実などの検討を行います。

4 組織・事務分掌

(1) 組織

- ① 館長 — 副館長
- └ 管理係
 - └ サービス係

- ② 職員数 27 名（うち司書資格 19 名）

〔内訳〕正職員：15 名、図書館専門員（会計年度任用職員）12 名

そのほか、カウンター補助、事務補助、配送など会計年度任用職員 39 名

〔令和3年（2021年）4月1日現在〕

(2) 事務分掌

- ① 管理係

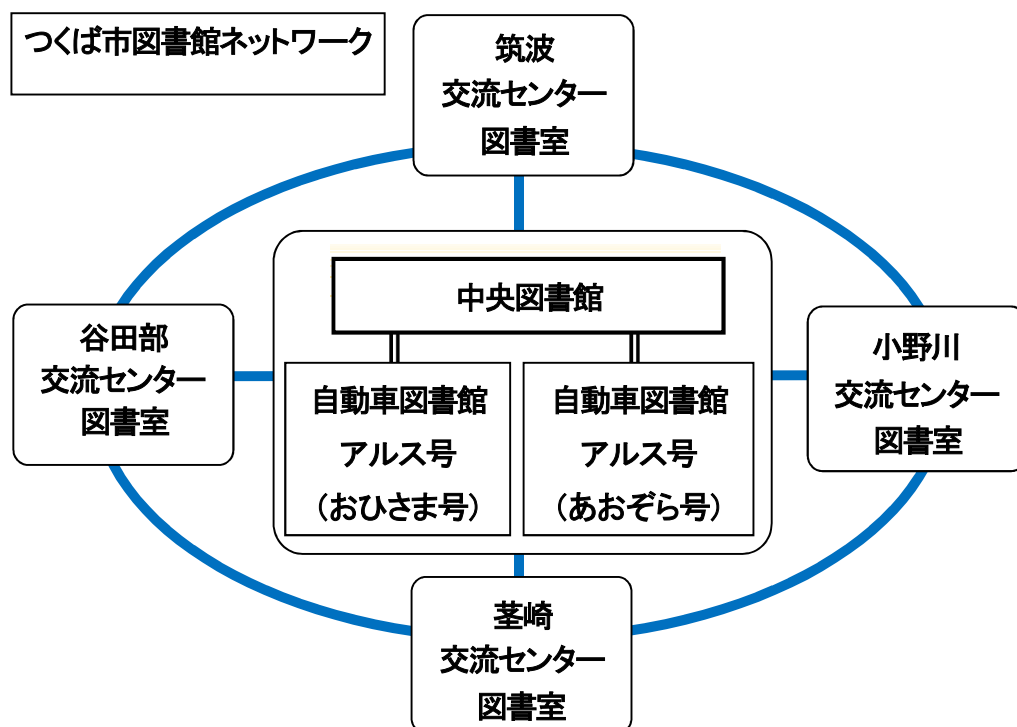
予算管理、施設管理、資料収集・廃棄、ボランティア、図書館情報システム、広報広聴、図書館協議会、アルスホール ほか

- ② サービス係

館内利用、団体貸出、相互貸借、館内展示、自主事業の企画・運営、自動車図書館、学校図書館支援、書架管理、延滞資料処理 ほか

5 図書館サービス体制

つくば市の図書館サービス体制は、中央図書館を中心に自動車図書館及び次に示したオンラインシステムで結ばれている谷田部・筑波・小野川・茎崎の各交流センター図書室(以下、4交流センター図書室)で構成され、貸出・返却・予約などのサービスを一体的に受けることができます。また、これらのサービスは、図書館情報システムにより一元的に管理されています。



このほか市庁舎（コミュニティ棟）、大穂・豊里・並木・広岡の各交流センターにも返却することができます。

6 図書館サービス

(1) 貸出

① 個人貸出

つくば市に在住、在勤、在学している個人に利用カードを交付し、図書の貸出を行っています。

個人の図書館利用カードの登録・交付は、つくば市在住の方は氏名、住所の確認できるもの、在勤・在学の方はそのほかに勤務先・通学先のわかるものを提示の上、「貸出登録申込書」の提出により登録ができます。

② 団体貸出

つくば市内で活動する団体や施設が行う読書活動を推進するために図書館資料を長期間貸出するサービスです。登録の際に必要な書類や手続方法については御相談ください。

③ 貸出条件

貸出区分	資料区分	期間	冊数・点数
個人貸出	図書資料	2週間以内	10冊以内
	視聴覚資料	1週間以内	3点以内
団体貸出	図書資料（閉架で所蔵する、雑誌及び地域資料を除く資料）	3月以内	300冊以内（うち紙芝居、外国語資料は50冊まで）
	図書資料（開架で所蔵する、雑誌及び地域資料を除く資料）	2週間以内	20冊

（2）返却

中央図書館、自動車図書館及び4交流センター図書室で図書館資料の返却ができます。

なお、視聴覚資料や紙芝居は破損の恐れが高いため、職員へ直接手渡しで返却し、資料本体の確認を受けてください。

そのほか、次の施設でも各施設の開館時間中であれば返却ができます。（紙芝居など一部資料を除く）

ア つくば市庁舎ブックポスト（コミュニティ棟1F）

イ 大穂交流センターブックポスト

ウ 豊里交流センターブックポスト

エ 並木交流センターブックポスト

オ 広岡交流センター窓口



（3）図書資料の予約・リクエスト

① 予約・リクエストとは

御希望の図書資料が貸出中の場合は、貸出の予約をすることができます。また、その資料が中央図書館で所蔵していない場合は、リクエストすると購入について検討します。御希望にお応えできない場合もありますが、その場合、茨城県内の他市町村図書館などからの取寄せ（原則無料）や、茨城県外の図書館からの取寄せ（有料。諸条件あり）をすることができます。

② 申込方法

申込みは、「予約・リクエスト・相互貸借申込書」に記入し、直接提出又は、Webから申し込むことができます（予約の場合は、あらかじめパスワードの設定が必要です。図書館・図書室で利用カードを提示の上手続きしてください）。なお、貸出の予約に限り、館内にある利用者端末からも申し込むことができます。

御用意ができましたら、電話又はE-mailで御連絡いたします。予約・リクエストは、申込みができる冊数に上限があります。

③ 在架図書の取寄せ

中央図書館所蔵で貸出中ではない図書（在架図書）については、4 交流センター図書室で受け取ることができます。予約はWeb サービスから、取り寄せには日数を要しますので御了承ください。

（４）Web サービス

- ① 資料の予約、リクエスト、レファレンス（相談）、利用状況（貸出中の資料、返却日、予約状況）の確認、メールアドレスの登録・変更及びパスワード変更などができます。
- ② リンク先として、図書館、出版情報、他官公庁の情報などを掲載しています。
- ③ 「マイ本棚」機能で、貸出履歴の管理などができます。

（５）視聴覚サービス

映像（DVD・VHS）や音声（CD・カセットテープ）による視聴覚資料は、館内で視聴できるよう提供しています。著作権者の許諾を得られたものは館外貸出を行っています。

（６）多文化サービス

- ① 英語、中国語、韓国語を中心に、外国語雑誌 13 誌及び外国語新聞 5 紙（1 紙は子供用）を収集し、備えています。（詳細はP24 の「所蔵雑誌・新聞一覧」を参照）
- ② 館内カウンターには、英語、中国語、韓国語及びポルトガル語の利用案内を設置しています。

（７）送付貸出しサービス

図書館の利用が困難な方や不便な方などの自宅へ図書を送付するサービスです。貸出及び返却に係る費用は利用者の負担となります。

（８）乳幼児、児童、高齢者及び図書館利用に支障のある方へのサービス

- ① こどもコーナーに、子供の成長に応じた資料を備えています。
- ② こどもコーナーに、大活字の本、LLブックを備えています。
※「LL」とは、スウェーデン語で「やさしく読める」という意味の略語であり、知的障害のある方など、一般的な情報提供では理解が難しい方にとっても読みやすく作られている本のことを「LLブック」といいます。
- ③ 大活字本コーナーに、大きな活字の本を備えています。
- ④ 小説などの録音資料（CD・カセットテープ）を備えています。
- ⑤ 点訳ボランティアが作成した点字絵本を備えています。
- ⑥ 音訳ボランティアが作成した「声の常陽リビングとミニ情報」の希望者への配布、「広報つくば」音声版の提供、対面朗読などを行っています。

(9) 複写サービス

著作権法第31条の規定により、図書館が所蔵する資料の一部分を一人につき1部コピーすることができます。

○カラーコピー：1枚50円 ○白黒コピー：1枚10円（サイズは最大A3まで）

(10) オンラインデータサービス

中央図書館内の専用端末を使うことにより、以下のデータベースサービスを利用することができます。

- ① 朝日新聞データベース「聞蔵Ⅱ テキスト版」
- ② 茨城新聞データベース
- ③ 官報情報検索サービス
- ④ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

※利用条件等がそれぞれ異なりますので詳しくは図書館ホームページを参照してください。

7 小中学校・義務教育学校への支援事業

中央図書館では、児童及び生徒の読書環境の充実を推進するために、市立小中学校及び義務教育学校に対して各種の支援事業を行っています。

- ① ジュニア図書館員、職場体験学習、社会科見学などの受入れ
- ② 学校図書館、学級文庫に対する団体貸出
- ③ 学校訪問ブックトーク事業
- ④ 司書教諭補助員の研修
- ⑤ 小学校・義務教育学校への自動車図書館巡回



学校訪問ブックトーク

8 自動車図書館

自動車図書館では、図書の貸出・返却のほか、利用登録の受付、貸出の予約などのサービスを行っています。

自動車図書館の日程表は、図書館ホームページなどで確認できます。

なお、図書資料の汚損等を防止するため、悪天候時には運行を中止する場合があります。

車両の詳細は次のとおりです。

- | | |
|--------|---|
| ① 名称 | 1号車「おひさま号」、2号車「あおぞら号」 |
| ② 積載冊数 | 1台当たり約3,500冊 |
| ③ 訪問先 | 48ステーション
(小学校、保育所、児童館、老人ホーム、市役所など) |
| ④ 運行日 | 火・水・木・金曜日及び隔週土曜日
(日程表は毎年広報つくば4・10月号及び図書館ホームページに掲載) |
| ⑤ 巡回周期 | 2週間に1度 |
| ⑥ 装備 | 車椅子用リフト付き |



※ 令和4年度（2022年度）には、新たな車両を導入し、3台体制でより細やかなサービスを提供していきます。

9 4交流センター図書室との連携

つくば市内にある17の地域交流センターのうち、谷田部・筑波・小野川・荃崎の4交流センター図書室では、コンピュータネットワークにより中央図書館と一体的な図書館サービスを提供し、市民サービスの向上に努めています。

- ① 中央図書館及び自動車図書館で所蔵している資料も検索することができます。
- ② 4交流センター図書室、中央図書館及び自動車図書館の本を取り寄せて利用することができます。
- ③ 中央図書館の在架（本棚にありかつ貸出中ではない）図書資料をWebから予約して4交流センター図書室に取り寄せることができます。（視聴覚資料・コミックスなどは対象外）
- ④ 借りた資料は、上記の施設のどこでも返すことができます。また、図書資料は、市庁舎（コミュニティ棟）及び大徳・豊里・並木・広岡の各交流センターにも返却することができます。

10 筑波大学附属図書館との連携

つくば市域に所在する図書館の、それぞれの情報、資源及び活動成果等の交流を促進し、かつ、連携してその活用を図ることにより、相互の持続可能な発展と充実に資することを目的として、令和元年（2019年）9月に筑波大学附属図書館と連携協定を締結しました。

まずは筑波大学附属図書館との連携事業を進め、将来的には協定の範囲をつくば市域全体に広げていくことを目指します。

筑波大学附属図書館との連携事業

① 「ライブラリーピクニック」実施

令和元年（2019年）11月2（土）・3（日）、筑波大学学園祭に合わせ、筑波大学附属図書館駐車場にてライブラリーピクニックを開催。筑波大学図書館情報メディア系共催、つづきブックカフェ（横浜市）協力のもと、自動車図書館による図書の貸出、読み聞かせ、ジャズ演奏などを実施しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。

② 2者間独自の相互貸借制度の運用を開始

令和3年（2021年）6月1日、つくば市域図書館連携に関する協定書第2条に基づき、筑波大学附属図書館とつくば市立中央図書館との間の独自の相互貸借制度の運用を開始しました。茨城県図書館情報ネットワーク物流搬送システムを利用して行っている相互貸借を両館が直接行うことにより、搬送に要する時間を短縮し、利用者への貸出期間をより長く確保することができるようになりました。

③ 筑波大学附属図書館へのブックポストの設置

筑波大学附属中央図書館につくば市立中央図書館のブックポストを設置します。これにより、当館で貸出した本を筑波大学附属中央図書館でも返却できるようになります。令和3年度中に運用を開始する予定です。

11 令和2年度（2020年度）の主な図書館事業

年月	内容等
通年	「おはなし会」(毎週土曜日及び第5日曜日) 「古典ブックトーク」(毎月第1土曜日) 「おとなのためのブックトーク」(毎月第3土曜日) 「おはなしぶんぶん(乳幼児向けおはなし会)」。(原則月2回、第3金曜日・第4水曜日)
4月	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府・茨城県知事からの土日・夜間の外出自粛要請により、臨時休館(4・5日)及び午後5時までの時間短縮開館。(7日) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館。自動車図書館やブックポストを含めたすべてのサービスを休止。(8日～5月11日) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館で開催するすべてのイベントを中止。(～5月)
5月	中央図書館で予約本の貸出を再開。開館時間は午後5時まで。(12日～) 資料の貸出、自動車図書館の運行を再開。開館時間は午後5時まで。(19日～)
6月	滞在型のサービスを除く図書館サービスを再開。開館時間は午後5時まで。(2日～) 新聞・雑誌の閲覧、インターネット閲覧端末・オンラインデータベースの利用、ソファ・椅子の利用を再開。開館時間は午後5時まで。(16日～) 「おはなしぶんぶん」を再開。(19日開催～)
7月	開館時間を午後7時までに戻し、閲覧席、視聴覚ブース、学習室の利用を再開。(1日～) 「古典ブックトーク」及び「おとなのためのブックトーク」を再開。
8月	
9月	
10月	公園通りの図書館通信「ヨモッカ」(第15号)発行。 学校訪問ブックトーク事業〔小学校21校・中学校4校〕(～2月) 「令和2年度第1回図書館協議会」(28日)
11月	児童向け図書館だより「こどもヨモッカ」(第14号)発行 「The World Week @中央図書館」開催。(4日～29日) 「おはなし会」を再開。(21日開催～)
12月	茨城県知事によりつくば市が感染拡大市町村に指定され(1月7日からは茨城県独自の緊急事態宣言発令)、不要不急の外出自粛要請が出されたため、図書館で開催するすべてのイベントを中止。(～2月)

-
- 1月 新型コロナウイルスの感染拡大により茨城県独自の緊急事態宣言が発令されたため、中央図書館の滞在型サービス(インターネット閲覧端末・視聴覚ブース・リスニングデッキ・学習室の利用)を休止。(18日～2月23日)
-
- 茨城県独自の緊急事態宣言発令による市内の全交流センター休館に伴い、4交流センター図書室は臨時休室(予約本の受取及びブックポストへの返却は可能)。(18日～2月7日)
-
- 2月 公園通りの図書館通信「ヨモッカ」(第16号)発行
-
- 児童向け図書館だより「こどもヨモッカ」(第15号)発行
-
- 4交流センター図書室再開。(13日～)
-
- 中央図書館で休止していた滞在型サービスを再開。(24日～)
-
- 3月 「おはなし会」、「おはなしぶんぶん」、「古典ブックトーク」、「おとなのためのブックトーク」を再開。
-
- 「令和2年度第2回図書館協議会」(9日)
-
- 「ぬいぐるみたちのおとまり会」開催。(19日～21日)
-

※事業等にはボランティアによる企画事業も含まれます。



The World Week @中央図書館



ぬいぐるみたちのおとまり会

12 沿革

年	月日	事項等
昭和 62 年 (1987 年)	11 月	・研究学園都市建設連絡協議会（研究学園都市を構成する 6 町村）、住宅都市整備公団つくば開発局及びその他による「筑波研究学園都市総合都市文化センター図書館基本計画」が策定される。
	11 月 30 日	・筑波郡大穂町、豊里町、谷田部町及び新治郡桜村が合併し、つくば市が誕生すると同時に、教育委員会事務局に図書館準備室（2 名）が発足する。
昭和 63 年 (1988 年)	1 月 31 日	・筑波郡筑波町がつくば市に加わり、つくば市全域への図書館サービス実施計画の検討を開始する。
平成元年 (1989 年)	3 月 11 日	・図書館を含む複合施設「筑波研究学園都市総合都市文化センター」が着工する。
	3 月 15 日	・教育委員会による「これからの図書館サービスを求めて～つくば市の図書館サービス実施計画」が策定される。
	4 月 1 日	・図書館準備室の職員が 6 名に増員され、本格的準備作業に入る。
平成 2 年 (1990 年)	4 月 1 日	・開館に向けて司書の採用、有資格者の異動により職員（8 名）の確保を図り、14 名体制となる。
	4 月 25 日	・「筑波研究学園都市総合都市文化センター」竣工となる。
	6 月 8 日	・図書館準備室にかわり、教育委員会に中央図書館を設置する。
	6 月 9 日	・つくば文化会館アルス内に「つくば市立中央図書館」が開館する。
	6 月 16 日	・おはなし会を開始する。
	7 月 18 日	・自動車図書館つくばアルス 1 号、2 号の運行及び巡回サービスを開始する。（ステーション 35 か所）
平成 3 年 (1991 年)	9 月 30 日	・つくば市立中央図書館概要を発行する。（以降毎年発行）
	4 月 1 日	・稲敷郡茎崎町民への貸出サービス開始。図書館職員数 19 名体制となる。
平成 4 年 (1992 年)	10 月 1 日	・自動車図書館のステーション数を増加する。（ステーション 50 か所）
	1 月 31 日	・小河内芳子氏の講演会を開催する。
平成 5 年 (1993 年)	4 月 1 日	・目の不自由な方への、郵送（無料）による録音テープの貸出しを開始する。
	2 月	・谷田部公民館図書室とのオンライン化を図りサービスを開始する。
	4 月 1 日	・図書館職員数 25 名体制となる。（公民館図書室への司書駐在開始）

	7月1日	・4月1日に開館した筑波公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスを開始する。
	10月17日	・図書館情報大学の実習生を受入れる。（以降毎年受入） ・社会福祉法人茨城県盲人協会から、障害者のための活動に対して感謝状を受ける。
平成6年 (1994年)	3月	・司書講習の実習生として全盲の学生を受入れる。
	3月25日	・一日図書館員（小学生）事業を開始する。（以降毎年実施）
	7月	・ボランティアの協力により録音図書の作成を始める。
	10月4日	・学校訪問ブックトークを開始する。（以降毎年実施）
平成7年 (1995年)	3月31日	・平成6年度の貸出冊数が県内公共図書館でトップになる。
	7月1日	・図書館情報システムを更新する。
平成8年 (1996年)	1月25日	・ボランティア朗読講座を開講する。
	4月	・除籍図書のリサイクル事業を開始する。（以降不定期開催）
	7月	・タッチパネル方式の利用者端末機を導入し、機能の充実を図る。 ・ご意見箱「皆さんの声」を設置する。
平成9年 (1997年)	11月28日	・講演会「図書館のススメ」竹内哲氏
	2月21日	・講演会「視覚障害者の読書と図書館」美月めぐみ氏
平成10年 (1998年)	4月1日	・図書館職員26名体制となる。（谷田部、筑波、小野川公民館図書室駐在司書含む。）
	5月	・4月1日に開館した小野川公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスを開始する。
平成11年 (1999年)	3月	・堀川理万子原画展を開催する。「リリィおばさんなげキッス」
	7月	・こども相談デスクを設置する。
	10月	・大島英太郎原画展を開催する。
平成12年 (2000年)	4月1日	・図書館職員27名体制となる。
	7月	・図書館情報システムを更新する。
	12月	・自動車図書館「アルス1号」を更新、おひさま号と命名する。
平成13年 (2001年)	4月1日	・図書館職員24名体制となる。
	12月	・自動車図書館「アルス2号」を更新、あおぞら号と命名する。
平成14年 (2002年)	4月1日	・図書館職員23名体制となる。
	11月1日	・稲敷郡茎崎町がつくば市に編入される。
平成15年 (2003年)	2月22日	・ファーストブック講座を開催する。（以降毎年実施）
	3月4日	・「つくば市立図書館の望ましい基準」策定に当たっての基本的な考え方を図書館協議会へ諮問する。

	4月20日	・英語のおはなし会を実施する。（県内初）
	6月1日	・利用カードのデザインを更新する。
	7月1日	・荃崎公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスを開始する。 ・図書郵送サービスを開始する。（県内初）
	7月	・学校図書館実務講座を開催する。（2日間）2か年実施
平成16年 (2004年)	3月18日	・「つくば市立図書館の望ましい基準」策定に当たっての基本的な考え方について、図書館協議会から館長へ答申する。
	4月1日	・図書館協議会委員の公募を行う。
	4月23日	・子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受ける。
	10月	・「カラスとカケスの物語」原画展を開催する。
平成17年 (2005年)	3月22日	・年間総貸出冊数100万冊を超える。（県内初）
	4月1日	・図書館専門員設置規則を制定する。専門員7名採用 ・個人貸出しを5冊から10冊に変更する。
	7月1日	・図書館情報システムを更新する。
	8月24日	・つくばエクスプレスが開通する。
	10月	・全国図書館大会茨城大会に参加する。
	11月26日	・茨城県読書推進運動協議会長から活動功績が認められ表彰を受ける。
	12月	・芳川豊「おはなしトランプ」原画展を開催する。
平成18年 (2006年)	1月21日	・つくばエクスプレス開業記念、中央図書館開館15周年記念事業「土田義晴さんとともに」を開催する。
	4月15日	・地域文化ボランティア「おとなのためのブックトーク」を開始する。（以降毎月実施） ・一部の祝日を開館する。（年間6日）
	10月29日	・図書館ボランティアが茨城県教育長から図書館の振興発展に寄与した事が認められ感謝状を受ける。
平成19年 (2007年)	1月21日	・「藤田昌矢氏が語る絵本」講演会を開催する。
	4月1日	・一部の祝日を開館する。（年間5日）
	7月	・「つくば市立図書館における延滞資料の督促に関する事務処理要項」を改正する。
	11月30日	・図書館ボランティアが市長から振興発展の感謝状を受ける。
平成20年 (2008年)	4月1日	・谷田部、筑波、小野川、荃崎公民館図書室への司書駐在を廃止し、図書室業務全般が委託となる。 ・祝日（年間3日）及び月末休館日（年間7日）を開館する。
平成21年 (2009年)	4月1日	・図書館職員17名、図書館専門員8名体制となる。 ・祝日（年間7日）及び月末休館日（年間7日）を開館する。

平成 22 年 (2010 年)	7 月	・「つくば市立図書館の望ましい基準」(平成 16 年度策定)の基本的な考え方に関する答申について、内容の検証と評価を図書館協議会へ諮問する。
	10 月	・科学フェスティバルに初出展する。
	3 月	・年間総貸出冊数が 140 万冊を超える。(谷田部、筑波、小野川、荖崎公民館図書室分含む。)
	4 月 1 日	・図書館職員 16 名、図書館専門員 10 名体制となる。 ・祝日(年間 4 日)及び月末休館日(年間 7 日)を開館する。
平成 23 年 (2011 年)	6 月	・「つくば市立図書館の望ましい基準」(平成 16 年度策定)の基本的な考え方に関する諮問について、図書館協議会長から館長及び教育長へ答申される。
	10 月	・開館 20 周年記念事業(おはなしフェスティバルなど)開催。
	3 月 11 日	・東日本大震災の発生により施設や資料が破損し、地震発生時刻から臨時休館する。同月 23 日から時間短縮(木曜日を除き 17 時閉館)にて再開する。
	4 月 1 日	・公民館が「交流センター」に名称変更となる。 ・祝日(年間 4 日)及び月末休館日(年間 7 日)を開館する。
	7 月 1 日	・閉館時間を試行する。(水・土・日 17 時、火・木・金 19 時)
平成 24 年 (2012 年)	10 月 1 日	・閉館時間が通常に戻る。(火～金 19 時、土・日 17 時) ・図書館情報システムを更新する。 ・中央図書館ホームページをリニューアルする。
	10 月 23 日	・「おはなしフェスタ 2011」を開催する。 ・科学フェスティバルに出展。(以降毎年出展)
	4 月 1 日	・図書返却窓口の増設を試行する。(大穂・豊里・並木・広岡の各交流センター) ・祝日(年間 6 日)及び月末休館日(年間 8 日)を開館する。
	5 月 6 日	・大規模竜巻が発生し、筑波交流センター図書室が休室する。(26 日から再開)
	10 月 24 日	・「おはなしフェスタ 2012」を開催する。
平成 25 年 (2013 年)	4 月 1 日	・増設した図書返却窓口を継続設置する。(大穂・豊里・並木・広岡の各交流センター) ・祝日(年間 6 日)及び月末休館日(年間 6 日)を開館する。
	5 月 1 日	・図書館職員 15 名、図書館専門員 10 名体制となる。
	7 月	・新任司書教諭補助員研修(4 日間)を実施する。以降毎年実施。

	8月1日	・公園通りの図書館通信「ヨモッカ」第1号を発行する。(以降年2回発行)
平成26年 (2014年)	1月	・「給食ブックトーク」を実施する。(市内4幼稚園)
	3月1日	・市庁舎にブックポストを設置する。
	4月1日	・祝日(年間5日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。
	6月	・児童向け図書館だより「こどもヨモッカ」第1号を発行する。 (以降年2回発行)
	10月30日	・絵本作家ゴブリン博士小中大地さん作品展(～11/19)
平成27年 (2015年)	4月1日	・祝日(年間12日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。 ・4交流センター図書室の運営が中央図書館に移管される。 ・雑誌スポンサー制度を開始する。 ・あかちゃん向けおはなし会「おはなしぶんぶん」を開始する。 (以降、毎月実施)
	7月	・開館25周年記念事業(おはなしフェスティバルなど)を開催。
	10月18日	・絵本作家武田美穂氏講演会を開催する。
平成28年 (2016年)	4月	・祝日(年間9日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。 ・図書館職員15名、再任用職員1名、図書館専門員10名体制となる。
平成29年 (2017年)	4月	・祝日(年間9日)及び月末休館日(年間6日)を開館する ・図書館職員13名、再任用職員2名、図書館専門員10名体制となる。
	9月	・図書館システムを更新(9/18～10/4休館)
	10月	・開館時間延長を試行(6日間)
	3月	・所蔵雑誌の保存期間を一部変更(外国語学習雑誌 永年→2年)
平成30年 (2018年)	1月	・荃崎交流センター図書室工事のため休室(1/10～2/3)
	4月	・祝日(年間13日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。 ・図書館職員14名、再任用職員2名、図書館専門員10名体制となる。 ・中央図書館の開館時間を土曜日・日曜日も午後7時まで延長する (試行)。
	4月	・南2及び北2駐車場の無料サービスを2時間までに延長する。 ・WEB申込みに限り、4交流センター図書室への中央図書館在架図書 取寄せを開始
	7月19日	・「つくば市図書館懇話会」を設置(年度内に計5回開催) ・「第1回 つくば市図書館懇話会」が開催される。

	9月3日	・「第2回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	10月20～ 21日	・「つくばFlower Market & Open Library」に自動車図書館で参加 〔中央公園〕
	11月11日	・「世界のゲームで遊ぼう」を開催する。
	11月24日	・公開シンポジウム「図書館の未来のかたち-つくば市の図書館のこれからを考える-」開催〔市役所本庁舎〕
	11月26日	・「第3回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	12月5日	・「第4回 つくば市図書館懇話会（市内視察）」が開催される。
平成31年 (2019年)	1月25日	・ぬいぐるみのおとまり会を開催する。
	1月29日	・「第5回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	3月21日	・「つくばVAN泊」に自動車図書館で参加する。
	4月	・図書館職員13名、再任用職員2名、図書館専門員10名体制となる ・祝日(年間16日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。 ・つくば市役所コミュニティ棟1階オープンスペースへの図書の配置を行う。(365冊) ・自動車図書館の隔週土曜日運行を開始する。 ・自動車図書館の一部平日午前運行を開始する。
	4月26日	・「第6回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
令和元年	5月11～ 12日	・「ライブラリーピクニック」を開催する。〔つくば美術館屋外展 示場〕
	7月30日	・「第7回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	8月	・市庁舎ブックポストをコミュニティ棟1階に移動する。
	8月29日	・「第8回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	9月	・中央図書館閉架書庫の電動集密書架を改修する。
	9月25日	・「つくば市域図書館連携に関する協定」締結式を挙げる。 ・「第1回つくば市域図書館連携協議会」を開催する。
	10月3日	・「第9回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	10月15日	・「第10回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	10月29日	・JICA 筑波の協力により「The World Week@中央図書館」を開催する。 (11月3日まで)
	11月2日	・「ライブラリーピクニック」を開催する。〔筑波大学附属図書館〕
	11月3日	・「ブックカフェ」を開催する。〔BiVi つくば前〕
令和2年 (2020年)	2月28日	・新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、図書館で開催 するイベントの中止を決定。
	3月	・つくば文化会館アルスのエレベーターを改修する。
	3月23日	・つくば市図書館懇話会から教育長へ提言書が提出される。

	4月1日	・図書館職員13名、再任用職員2名、図書館専門員11名体制となる。 ・祝日(年間12日)及び月末休館日(年間5日)を開館とする。
	4月4～5日	・新型コロナウイルスの感染拡大により政府・茨城県知事から土日・夜間の外出自粛要請が発表されたため、中央図書館及び4交流センター図書室を臨時休館とする。(7日は中央図書館のみ午後5時まで開館。)
	4月8日	・新型コロナウイルスの感染拡大により首都圏に緊急事態宣言が発令されたため、中央図書館及び4交流センター図書室を臨時休館とし、自動車図書館やブックポスト、Webサービスも含めたすべての図書館サービスを休止。5月12日以降、段階的に再開。
	10月	・中央図書館及びアルスホールの照明をLED化する。
	10月1日	・資料や座席の除菌のため「UV-C紫外線照射自動巡回ロボット」を試験的に導入する。
令和3年 (2021年)	1月5日	・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスにおいて、国立国会図書館デジタルコレクションの複写サービスを開始する。
	1月18日	・茨城県独自の緊急事態宣言発令による市内の全交流センター休館に伴い、4交流センター図書室を2月7日まで臨時休室とする(予約本の受取及びブックポストへの返却は可能)。中央図書館は滞在型サービスを休止して開館。
	3月	・「つくば文化会館アルス長寿命化計画」を策定する。 ・中央図書館閉架書庫の電動集密書架を改修する。
	4月1日	・図書館職員12名、再任用職員3名、図書館専門員12名体制となる。
	5月1日	・茨城県立図書館が提供する「インターネットによる遠隔地貸出サービス(ぶっくびん)」に参加する。
	6月1日	・「つくば市域図書館連携に関する協定書」に基づき、筑波大学附属図書館との直接の相互貸借を開始する。



紫外線照射自動巡回ロボットによる除菌



館内照明のLED化

13 年間統計

			令和 2 年度 (2020年度)	平成31 令和元年度 (2019年度)
開館状況	1	開館日数	266 日	289 日
	2	開館時間	2,423 時間	2,717 時間
登録等	3	常住人口 (R3.4.1現在)	244,268 人	238,014 人
	4	入館者数 (一日当たりの入館者数)	393,376 人 (1,479 人)	559,798 人 (1,937 人)
	5	登録者数	42,437 人	44,168 人
	6	うち市外居住者数	1,251 人	1,462 人
蔵 書	7	図書資料冊数	291,324 冊	292,208 冊
	8	うち開架図書数	159,197 冊	160,326 冊
	9	うち自動車図書館	43,148 冊	41,704 冊
	10	視聴覚資料数 (CD・DVD・ビデオ等)	13,621 点	13,704 点
	11	雑誌数	10,611 冊 (213 種)	10,558 冊 (213 種)
	12	新聞数	31 紙	31 紙
団 体	13	団体登録	129 団体	121 団体
	14	団体利用	102 団体	248 団体
	15	団体貸出冊数	6,911 冊	10,601 冊
個 人 貸 出	16	貸出者数 (うち児童数)	203,788 人 (47,016 人)	243,138 人 (53,346 人)
	17	一日当たり貸出者数	766.1 人	841.3 人
	18	貸出総数	890,285 冊 (点)	1,020,807 冊 (点)
	19	利用者一人当たりの貸出数	4.37 冊 (点)	4.20 冊 (点)
	20	視聴覚機器利用者数	394 人	2,301 人
受 入	21	年間資料購入総額 (2 年度決算額)	36,105 千円	36,102 千円
	22	内訳 ①図書資料	29,638 千円	29,523 千円
	23	②視聴覚資料	3,362 千円	3,476 千円
	24	③雑誌	2,166 千円	2,152 千円
	25	④新聞	939 千円	951 千円
	26	受入資料総数 (雑誌を除く)	17,616 冊 (点)	18,502 冊 (点)
	27	内訳 ①購入図書	16,500 冊	17,489 冊
	28	②購入視聴覚	449 点	410 点
	29	③寄贈他	667 冊 (点)	603 冊 (点)
除 籍	30	年間除籍資料数 (雑誌を除いた除籍数)	20,393 (17,691) 点	14,956 (12,202) 点

注釈

1. 蔵書とは、図書資料、視聴覚資料 (CD・DVD等)、雑誌及び新聞などを指す。
2. 貸出者数及び貸出資料総数には、自動車図書館の利用者も含む。
3. 4 各交流センター図書室のデータは含まない。

① 月別統計（中央のみ）

	開館日数	入館者数	貸出人数 (団体含む)	貸出冊数 (団体含む)	予約・リクエスト 件数	視聴覚 機器利用 人数
4月	4	5,553	2,646	11,753	1,906	11
5月	18	10,868	5,496	27,208	29	0
6月	25	25,307	15,398	70,803	12,016	0
7月	26	34,626	17,673	78,932	11,222	68
8月	26	43,952	20,129	89,061	11,676	108
9月	25	39,634	18,693	83,460	11,040	83
10月	27	41,982	19,123	82,917	12,099	0
11月	24	42,475	18,682	81,757	11,268	0
12月	23	36,063	18,150	81,095	10,983	0
1月	24	39,743	18,982	85,723	12,630	39
2月	19	32,346	17,022	76,481	11,166	18
3月	25	40,827	19,184	83,591	11,868	67
合計	266	393,376	191,178	852,781	117,903	394
日平均		1,479	719	3,206	443	1
月平均	22	32,781	15,932	71,065	9,825	33

② 有効登録人数

年 齢	登録人数	比率 (%)
0～6	1,725	4.1
7～12	8,681	20.5
児童小計	10,406	24.6
13～15	1,903	4.5
16～18	1,148	2.7
19～22	2,179	5.2
23～29	2,571	6.1
30～39	6,037	14.3
40～49	7,935	18.8
50～59	4,352	10.3
60～	5,758	13.6
一般小計	31,883	75.4
個人計	42,289	100
団体等計	148	
総計	42,437	

③ 貸出人数

年 齢	中 央	自動車	谷田部	筑 波	小野川	荃 崎	郵 送	合 計	比率 (%)
0～6	11,202	3,284	2,001	668	1,549	396	0	19,100	6.7
7～12	25,314	7,216	3,938	1,573	2,533	1,769	0	42,343	14.9
児童小計	36,516	10,500	5,939	2,241	4,082	2,165	0	61,443	21.6
13～15	5,141	24	480	297	445	195	0	6,582	2.3
16～18	2,641	3	206	132	111	61	0	3,154	1.1
19～22	5,758	22	214	279	116	92	0	6,481	2.3
23～29	5,651	40	544	100	340	69	0	6,744	2.4
30～39	25,337	579	5,351	1,235	2,403	1,478	0	36,383	12.8
40～49	47,731	624	6,927	2,276	4,649	2,486	0	64,693	22.8
50～59	26,332	252	3,172	1,764	4,507	1,627	1	37,655	13.3
60～	35,503	668	5,067	2,862	5,543	10,911	1	60,555	21.3
一般小計	154,094	2,212	21,961	8,945	18,114	16,919	2	222,247	78.2
相互貸借	464							464	0.2
個人計	191,074	12,712	27,900	11,186	22,196	19,084	2	284,154	100
団体計	102							102	
総 計	191,176	12,712	27,900	11,186	22,196	19,084	2	284,256	
比率 (%)	67.3	4.5	9.8	3.9	7.8	6.7	0.0	100	

④ 蔵書冊数と受入冊数

資料区分	中 央	自動車	谷田部	筑 波	小野川	荃 崎	合 計
一般図書	165,304	15,246	33,049	17,337	17,413	36,796	285,145
ヤ ン グ	6,722	0	0	0	0	0	6,722
児童図書	65,393	27,902	14,776	15,186	13,656	14,780	151,693
外国語一般	7,625	0	0	0	0	0	7,625
外国語児童	3,132	0	180	12	38	59	3,421
視聴覚資料	13,621	0	0	7	0	0	13,628
雑 誌	10,611	0	708	1,278	632	781	14,010
全資料合計	272,408	43,148	48,713	33,820	31,739	52,416	482,244
比率 (%)	56.5	8.9	10.1	7.0	6.6	10.9	100

資料区分	中 央	自動車	谷田部	筑 波	小野川	荃 崎	合 計
受入冊数合計	16,981	3,390	1,711	1,455	1,570	1,655	26,762

※一般図書＝一般図書＋文庫＋参考図書＋郷土資料＋市政資料＋教科書の合計

※児童図書＝児童図書＋絵本＋紙芝居の合計

⑤ 資料区分別貸出冊数（館別）

	資料区分	中央	自動車	谷田部	筑波	小野川	荃崎	郵送	合計	比率(%)
貸出	一般図書	302,206	6,504	45,930	21,053	32,096	37,189	4	444,982	35.8
	文庫	52,590	25	4,665	1,850	5,721	9,133	0	73,984	5.9
	ヤング	48,989	0	125	43	71	50	0	49,278	4.0
	外国語一般	2,647	0	13	2	9	6	0	2,677	0.2
	参考図書	20	0	2	0	8	0	0	30	0.0
	地域資料	1,292	20	211	156	100	118	0	1,897	0.2
	市政資料	100	0	1	6	1	2	0	110	0.0
	教科書	156	0	6	0	0	0	0	162	0.0
	児童図書	195,696	26,277	31,538	13,081	24,343	15,664	0	306,599	24.7
	絵本	158,507	11,309	37,257	10,996	26,622	10,255	0	254,946	20.5
	紙芝居	5,928	277	1,376	345	507	165	0	8,598	0.7
	外国語児童	7,861	0	54	9	64	7	0	7,995	0.6
	視聴覚資料	52,113	0	1	0	0	0	0	52,114	4.2
	雑誌	24,672	3	4,663	2,803	4,200	3,761	0	40,102	3.2
	分類不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	計	852,777	44,415	125,842	50,344	93,742	76,350	4	1,243,474	100
	比率(%)	68.6	3.6	10.1	4.0	7.5	6.1	0.0	100	
	開館日数	266	179	246	248	247	248			
	一日平均	3,206	248	512	203	380	308			
	うち団体貸出	6,911	0	0	0	0	0	0	6,911	

⑥ 貸出冊数（全館）

分類	冊数	比率(%)
0 総記	11,600	0.9
1 哲学	27,380	2.2
2 歴史	58,493	4.7
3 社会	54,199	4.4
4 自然	89,772	7.2
5 技術	84,951	6.8
6 産業	21,681	1.7
7 芸術	65,831	5.3
8 言語	11,042	0.9
9 文学	85,053	6.8
N 小説	296,921	23.9
W 大活字本	2,479	0.2
T 市政資料	110	0.0
PC コンピュータ	3,280	0.3
TB 教科書	162	0.0
E 絵本	259,303	20.9
C 紙芝居	8,598	0.7
M コミック	69,649	5.6
S 進路情報	327	0.0
TE 点字	431	0.0
Z 雑誌	40,095	3.2
A 録音資料	20,789	1.7
V 映像資料	31,325	2.5
X その他	3	0.0
合計	1,243,474	100

⑦ 蔵書冊数（全館）

分類	冊数	比率(%)
0 総記	9,929	2.1
1 哲学	11,843	2.5
2 歴史	36,787	7.6
3 社会	35,090	7.3
4 自然	32,456	6.7
5 技術	28,384	5.9
6 産業	12,052	2.5
7 芸術	34,256	7.1
8 言語	7,463	1.5
9 文学	71,618	14.9
N 小説	94,861	19.7
W 大活字本	2,735	0.6
T 市政資料	2,935	0.6
PC コンピュータ	736	0.2
TB 教科書	419	0.1
E 絵本	60,554	12.6
C 紙芝居	3,634	0.8
M コミック	8,170	1.7
S 進路情報	353	0.1
TE 点字	237	0.0
Z 雑誌	14,004	2.9
A 録音資料	8,025	1.7
V 映像資料	5,603	1.2
X その他	100	0.0
合計	482,244	100

⑧ 予約リクエスト受付件数

中央	自動車	谷田部	筑波	小野川	荃崎	郵送	合計
117,903	277	4,310	1,630	2,575	4,341	0	131,036

リクエスト内訳（中央分）

窓口	ネット	自動車	合計
2,069	3,817	43	5,929

窓口のうち、図書室から中央へ購入依頼分

谷田部	筑波	小野川	荃崎
201	52	110	175

⑨ 相互貸借

年 度	借受冊数	貸出冊数	合 計
平成28年度	1,410	950	2,360
平成29年度	1,339	709	2,048
平成30年度	1,198	656	1,854
令和元年度	1,464	662	2,126
令和2年度	1,349	532	1,881

⑩ その他利用

年 度	視聴覚機器 利用人数	複 写 受付件数	朗読テープ(H30～ CD) 郵送本数	調査相談 件 数	新聞情報室 利用件数	WebOPAC 検索件数
平成28年度	2,736	1,617	130	1,794	77	1,308,032
平成29年度	2,371	1,278	241	1,630	62	1,139,836
平成30年度	2,678	1,220	247	1,808	23	1,235,690
令和元年度	2,301	1,045	222	1,608	28	1,351,947
令和2年度	394	710	256	1,389	25	1,560,611

⑩ (続き)

年 度	駐車券 発行数	図書館 入館者数	アルスホール 利用件数
平成28年度	54,127	548,777	294
平成29年度	57,259	514,588	313
平成30年度	57,215	571,642	254
令和元年度	74,789	559,798	276
令和2年度	56,479	393,376	181

⑪ 経費（中央館のみ）

年 度	A. 市の一般会計 予算（千円）	B. 図書館の 総予算 （千円）	B/A $\times 100$	C. 資料費 （千円）	C/B $\times 100$	図書費
平成28年度	81,614,000	340,363	0.42	36,694	10.78	33,000
平成29年度	87,672,000	346,903	0.40	35,969	10.37	33,000
平成30年度	85,617,000	332,795	0.39	35,973	10.81	33,000
令和元年度	88,040,000	387,186	0.44	36,609	9.46	33,000
令和2年度	88,525,000	420,383	0.47	37,026	8.81	33,000

⑫館外ブックポスト返却冊数

	大穂	豊里	並木	広岡	市庁舎	合計
平成28年度	2,570	1,776	7,217	128	8,892	20,583
平成29年度	2,909	1,802	7,695	203	11,609	24,218
平成30年度	4,317	2,220	7,586	50	16,524	30,697
令和元年度	4,436	1,761	6,932	78	20,835	34,042
令和2年度	3,581	1,430	4,999	72	14,135	24,217

14 ボランティア活動状況

登録状況

令和2年度(2020年度)

項目	おはなし	児童サービス	修理	音訳	点訳	国際化サービス	配架	地域文化	地域資料	図書館サポーター
登録人数	51	16	31	22	16	7	43	9	12	34

活動状況

項目	おはなし		児童サービス		修理		音訳		点訳		国際化サービス		配架		地域文化		地域資料		図書館サポーター	
	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数
4月	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	1	3	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	9	39	3	13	1	9	0	0	11	20	2	4	5	16	0	0
8月	0	0	0	0	7	47	2	8	0	0	0	0	13	27	2	4	5	12	0	0
9月	0	0	1	2	9	60	3	13	1	7	0	0	16	33	2	4	4	15	0	0
10月	0	0	3	3	8	52	4	17	1	8	0	0	25	68	2	4	4	15	0	0
11月	1	3	6	10	6	43	3	11	1	10	0	0	17	47	2	5	4	13	0	0
12月	0	0	5	12	8	41	3	13	1	11	0	0	16	39	1	3	4	11	0	0
1月	0	0	4	5	7	23	3	11	0	0	0	0	15	30	0	0	4	11	0	0
2月	0	0	1	1	5	20	3	13	1	8	0	0	14	32	0	0	3	8	0	0
3月	4	8	3	6	10	57	4	17	1	10	0	0	21	57	2	4	5	20	0	0
計	5	11	23	39	71	386	28	116	7	63	0	0	150	357	13	28	39	124	0	0

ボランティア活動実績

◆おはなしボランティア

- ・ おはなし会 毎週土曜日 年間延べ聴衆数68人
第1土曜 「荃崎おはなし会」 (令和2年度は活動なし)
第2土曜 「おはなしの泉」
第3土曜 「おはなしまつぱく」
第4土曜 「おはなしの森」
第5土曜(ない月は第4日曜) 「筑波大学ストーリーテリング研究会」

◆児童サービスボランティア

- ・ 児童コーナーの配架及び書架整理
- ・ クリスマスプレゼント作成 (11・12月)

◆修理ボランティア

- ・ 修理冊数 1,493冊

◆音訳ボランティア

- ・ 声の常陽リビング及びミニ情報作成 希望者へ配布

◆点訳ボランティア

- ・ 点訳絵本作成及び音訳ボランティア活動サポート

◆地域文化ボランティア

- ・ 古典ブックトーク 毎月第1土曜日
- ・ おとなのためのブックトーク 毎月第3土曜日

◆地域資料ボランティア

- ・ つくば市関連の新聞記事を集めた「つくばトピックニュース」の作成

15 所蔵雑誌一覧

★…新規購読誌 谷…谷田部 筑…筑波 小…小野川 茎…茎崎

一 般 (誌名 50 音順)				交流センター 所蔵状況
	誌 名	刊行頻度	保存年限 (中央館)	
あ				
1	I / O (アイオー)	月刊	2 年	
2	A E R A	週刊	1 年	
3	アクアライフ	月刊	2 年	
4	A X I S	隔月	2 年	
5	明日の友	隔月	2 年	
6	アニメージュ	月刊	2 年	
7	安心	月刊	2 年	
8	&プレミアム	月刊	2 年	
9	一個人	季刊	2 年	谷
10	一枚の繪	月刊	2 年	
11	イラストレーション	季刊	2 年	
12	E n g l i s h J o u r n a l	月刊	2 年	
13	W e d g e	月刊	2 年	
14	うかたま	季刊	2 年	
15	歌の手帖	月刊	2 年	
16	美しいキモノ	季刊	2 年	
17	栄養と料理	月刊	2 年	
18	エコノミスト	週刊	2 年	
19	S F マガジン	隔月	2 年	
20	E S S E	月刊	2 年	谷・ 筑・ 小・ 茎
21	★ NHK ガッテン！	季刊	2 年	
22	NHK きょうの健康	月刊	2 年	谷・ 筑・ 小・ 茎
23	NHK きょうの料理	月刊	2 年	谷・ 筑・ 小・ 茎
24	NHK 趣味の園芸	月刊	2 年	谷・ 筑・ 小・ 茎
25	NHK すてきにハンドメイド	月刊	2 年	谷・ 筑・ 小・ 茎
26	NHK みんなのうた	隔月	2 年	
27	F Q J A P A N	季刊	2 年	
28	M J 無線と実験	月刊	2 年	
29	L D K ※中央館所蔵なし	月刊	2 年	谷・ 筑・ 小(2年)
30	ELLE DÉCOR	年 5	2 年	
31	園芸ガイド	隔月	2 年	
32	E N G I N E	月刊	2 年	
33	おかずのクッキング	隔月	2 年	
34	★ O C E A N S	月刊	2 年	
35	O Z m a g a z i n e	月刊	2 年	
36	O g g i	月刊	2 年	
37	男の隠れ家	月刊	2 年	
38	おとなの週末	月刊	2 年	
39	おりがみ	月刊	2 年	
40	オール讀物	月刊	2 年	
41	オレンジページ	月 2	2 年	谷・ 筑・ 小
か				
42	カー＆ドライバー	月刊	2 年	
43	科学	月刊	2 年	
44	岳人	月刊	2 年	
45	かぞくのじかん	季刊	2 年	谷・ 小
46	学校図書館	月刊	2 年	
47	家庭画報 ※最新号カウンター内	月刊	2 年	茎

48	からだにいいこと	隔月	2年	
49	ガルヴィ	月刊	2年	
50	キネマ旬報	月2	2年	
51	★CAPA(キャパ)	月刊	2年	
52	クーヨン	月刊	2年	
53	暮らしの手帖	隔月	2年	谷・筑・小・茎
54	Clara	月刊	2年	
55	CREA Traveller	季刊	2年	
56	クロワッサン	月2	2年	筑・小・茎
57	群像	月刊	2年	
58	芸術新潮	月刊	永年	
59	月刊自家用車	月刊	2年	
60	現代詩手帖	月刊	2年	
61	現代農業	月刊	2年	
62	航空ファン	月刊	2年	
63	コットンタイム	隔月	2年	
64	こどもとしょかん	季刊	2年	
65	子供の科学	月刊	2年	谷・小・茎
66	ゴルフダイジェスト	月刊	2年	
67	暮ワールド	月刊	2年	
さ				
68	Cycle Sports	月刊	2年	
69	サッカーマガジン	月刊	2年	
70	THE 21	月刊	2年	
71	サライ	月刊	2年	筑・茎
72	サンデー毎日	週刊	2年	
73	散歩の達人	月刊	2年	谷・茎
74	JTB時刻表	月刊	1年	
75	CNN English Express	月刊	2年	
76	CD journal	年10	2年	
77	Jazz Life	月刊	2年	
78	週刊ダイヤモンド	週刊	2年	
79	週刊東洋経済	週刊	2年	
80	週刊文春	週刊	2年	
81	週刊ベースボール	週刊	2年	
82	ジュニアエラ	月刊	2年	
83	将棋世界	月刊	2年	
84	小説新潮	月刊	2年	
85	常陽藝文(寄贈)	* 2 月刊	永年	
86	新建築 住宅特集	月刊	2年	
87	新潮	月刊	2年	
88	SWITCH	月刊	2年	
89	スイミング マガジン	月刊	2年	
90	数学セミナー	月刊	2年	
91	スクリーン	月刊	2年	
92	Stereo	月刊	2年	
93	STORY	月刊	2年	
94	すばる	月刊	2年	
95	住まいの設計	隔月	2年	
96	墨	隔月	2年	
97	相撲	月刊	2年	
98	正論	月刊	2年	
99	世界	月刊	2年	

100	装苑	月刊	2年	
101	ソトコト	隔月	2年	
た				
102	ダ・ヴィンチ	月刊	2年	筑
103	T a r z a n	月2	2年	
104	卓球王国	月刊	2年	
105	旅の手帖	月刊	2年	茎
106	たまごクラブ	月刊	2年	
107	短歌	月刊	2年	
108	d a n c y u	月刊	2年	小
109	中央公論	月刊	2年	
110	つり人	月刊	2年	
111	D i s n e y f a n	月刊	2年	
112	鉄道ファン	月刊	2年	
113	テニスマガジン	月刊	2年	
114	電子工作マガジン	季刊	2年	
115	天然生活	月刊	2年	谷・筑・小・茎
116	天文ガイド	月刊	2年	
117	ドゥーパ!	隔月	2年	
118	特選街	月刊	2年	
119	図書館雑誌(寄贈)	月刊	永年	
120	飛ぶ教室	季刊	2年	
な				
121	なごみ	月刊	2年	
122	N u m b e r	隔週	2年	
123	N i c o l a	月刊	2年	
124	日経woman	月刊	2年	
125	日経サイエンス	月刊	2年	
126	日経トレンディ	月刊	2年	谷
127	日経パソコン	月2	2年	
128	日経ビジネス	週刊	2年	
129	日経PC21	月刊	2年	筑
130	日経マネー	月刊	2年	
131	Newsweek(日本版)	週刊	2年	
132	Newsがわかる	月刊	2年	
133	Newton	月刊	2年	
134	ねこ	季刊	2年	
135	農業いばらき(寄贈)	* 2 月刊	2年	
136	ノジュール	月刊	2年	
137	N o n - n o	月刊	2年	
は				
138	俳句	月刊	2年	
139	ハウジング	隔月	2年	
140	B i r d e r	月刊	2年	
141	バスケットボール	月刊	2年	
142	母の友	月刊	2年	
143	バレーボール	月刊	2年	
144	ピアノ	月刊	2年	
145	P H P	月刊	2年	茎
146	P H P のびのび子育て	月刊	2年	谷・筑
147	美術手帖	月刊	永年	
148	美的	月刊	2年	
149	B e - p a l	月刊	2年	

150	ひよこクラブ	月刊	2年	
151	F o r b e s J A P A N	月刊	2年	
152	婦人画報	月刊	2年	
153	婦人公論	月2	2年	筑・小・茎
154	婦人之友	月刊	2年	小
155	武道（寄贈） * 1	月刊	2年	
156	BRUTUS	月2	2年	
157	プレジデント	月2	2年	
158	プレジデントF a m i l y	季刊	2年	
159	フローリスト	月刊	2年	
160	文藝界	月刊	2年	
161	文藝	季刊	2年	
162	文藝春秋 ※最新号カウンター内	月刊	2年	谷・筑・小・茎
163	V o i c e	月刊	2年	
164	法学教室	月刊	2年	
165	本の雑誌	月刊	2年	

ま

166	M a c F a n	月刊	2年	
167	M a r t	月刊	2年	
168	MAMOR（寄贈） * 1	月刊	2年	
169	M r . P C	月刊	2年	
170	ミステリマガジン	隔月	2年	
171	ミセスのスタイルブック	季刊	2年	
172	m i l s i l（寄贈）	隔月	2年	
173	MEN'S CLUB	月刊	2年	
174	MEN'S NON - NO	月刊	2年	
175	MORE	月刊	2年	
176	MOE	月刊	2年	
177	モーターサイクリスト	月刊	2年	
178	モダンリビング	隔月	2年	
179	モノマガジン	月2	2年	

や

180	やさい畑	隔月	2年	筑
181	山と溪谷	月刊	2年	
182	ゆうゆう	月刊	2年	茎

ら わ

183	R C（ラジコン）マガジン	月刊	2年	
184	ランナース	月刊	2年	
185	L E E	月刊	2年	谷
186	留学ジャーナル	季刊	2年	
187	レコード芸術	月刊	2年	
188	歴史街道	月刊	2年	
189	歴史群像	隔月	2年	
190	レタスクラブ ※中央館所蔵なし	月2		茎（2年）
191	R O K I N ' O N J A P A N	月刊	2年	
192	W a n（わん）	隔月	2年	

* 1 寄贈雑誌架（前年雑誌棚内） * 2 地域資料コーナー

外 国 語 (誌名アルファベット順)				交流センター 所蔵状況
	誌 名	刊行頻度	保存年限	
193	Better Homes and Gardens	月刊	2 年	
194	ESQUIRE	月刊	2 年	
195	Hir@gana times	月刊	2 年	
196	marie claire	月刊	2 年	
197	National Geographic	月刊	永年	
198	National Geographic KIDS	年10	2 年	
199	Popular science	季刊	2 年	
200	Reader's Digest (英語版)	月刊	2 年	
201	TIME	週刊	2 年	
202	亞洲週刊 (中国語)	週刊	1 年	
203	天下雜誌 (中国語)	月 2	2 年	
204	★ Sélection Reader's Digest (フランス語)	年10	2 年	
205	Домашний очаг (ロシア語)	月刊	2 年	

児 童 (誌名50音順)				交流センター 所蔵状況
	誌 名	刊行頻度	保存年限	
206	かがくのとも	月刊	永年	筑
207	こどものとも	月刊	永年	谷・筑・茎
208	こどものとも 0・1・2	月刊	永年	谷・筑・小・茎
209	こどものとも 年少版	月刊	永年	
210	こどものとも 年中向き	月刊	永年	筑
211	この本読んで	季刊	永年	谷・筑・小・茎
212	宇宙 (そら) のとびら	季刊	永年	
213	たくさんのふしぎ	月刊	永年	
214	ちいさなかがくのとも	月刊	永年	
215	テルミ：点字資料	隔月	永年	

子どもコーナーに配架

16 所蔵新聞一覧

	紙名	保存期間
一般紙		
1	朝日新聞	2年
2	産経新聞	1年
3	日本経済新聞	2年
4	毎日新聞	2年
5	読売新聞	2年
6	朝日新聞(夕刊)	2年
7	日本経済新聞(夕刊)	2年
8	毎日新聞(夕刊)	2年
9	読売新聞(夕刊)	2年
スポーツ紙		
10	スポーツ報知	1年
11	日刊スポーツ	1年
専門紙		
12	日刊工業新聞	1年
13	日経産業新聞	1年
14	日経MJ(日経流通新聞)	1年
地方紙		
15	茨城新聞	2年
16	東京新聞	2年
17	福島民報	1年
18	福島民友	1年

	紙名	保存期間
政党機関紙		
19	しんぶん赤旗	1年
20	公明新聞	1年
21	社会新報	1年
22	自由民主	1年
23	週刊新社会	1年
学生・児童向け		
24	朝日小学生新聞	1年
25	毎日小学生新聞	1年
26	The Japan Times Alpha	1年
27	常陽小学生新聞	2年
外国語新聞		
28	The Japan News	1年
29	The Japan Times / The New York Times	1年
30	人民日報(中国)	1年
31	東亜日報(韓国)	1年

4 交流センター図書室所蔵新聞

	紙名	保存期間
1	日本経済新聞	6ヶ月

17 雑誌スポンサー制度

つくば市立図書館では、雑誌資料提供の場を広告媒体として活用することにより、民間事業者等の情報発信の場を提供するとともに、図書館の財源を確保し、所蔵資料、施設、サービスのより一層の充実を図り、地域と連携し図書館からつくばの教育を応援することを目的として、雑誌スポンサー制度を実施しています。

令和3年(2021年)度は11件のスポンサー様が19誌の雑誌に広告を掲出しています。(4月1日現在)

スポンサーになっていただくと、

- ① 選択いただいた雑誌の最新号カバー及び棚蓋にスポンサー名及び広告を掲出します。
- ② 図書館ホームページや館内掲示等でスポンサー名を紹介します。
- ③ スポンサーがつくばの教育を応援してくださっていることをPRできるように、企業や店舗などに掲示物を提供します。

スポンサー料は雑誌1誌につき15,000円(年度途中からは月額1,250円として算出します)。支払い方法は、納入通知書での振込みとなり、支払いに必要な一切の経費はスポンサー負担になります。スポンサー認定期間は年度を単位として、決定の翌月から当該年度末までです(更新が可能です)。

詳しい雑誌リストや申込要件方法等については、図書館ホームページを御覧いただくか、中央図書館までお問合せください。

※掲出例

雑誌カバー



雑誌の棚蓋



令和３年度 つくば市の図書館概要

発 行	令和３年（2021 年） 7 月
発行者	つくば市立中央図書館 つくば市吾妻二丁目 8 番地
	TEL 029(856)4311
	FAX 029(856)6277
